



「に」げずに  
「し」んじて  
「かん」しゃして  
「き」ょうりよくなる



2025年度  
**西神吉小だより**

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 169

## ～ 朝会で… ～

3月3日(火)、今年度最後の朝会を行いました。『緑化推進標語・ポスター』『作曲コンクール』『西神吉っ子描画展』の表彰も行いました。特選等の素晴らしい結果でした。表彰されたみなさん、おめでとう!!  
さて、今回の私からのお話は『節目』のお話です。

### 朝会で話したこと

ピッカリ!  
ピッカリ!



西神吉っ子のみなさん、おはようございます。(1年生から順番にあいさつをすると、どの学年からも元気な「おはようございます!」が返ってきました。)今年度最後の1ヶ月である3月が始まりました。

今の学年、クラスで過ごすのも、あと残りわずかですね。

さて、今日はみなさんに一枚の写真を持ってきました。何かわかりますか?

そうです、「竹」です。

竹は、まっすぐ空に向かって、とても速いスピードで伸びていきます。強い風が吹いても、しなやかにしなって、めったなことでは折れません。

なぜ、竹はこんなに高く、強く伸びることができるのでしょうか? その秘密は、竹にある「ふしめ(節目)」にあります。

竹をよく見ると、ところどころに固い仕切りがありますね。これを「節目」と言います。もし、この節目がなかったらどうなるでしょう。

竹の中は空洞ですから、節がなければ、風が吹いたらすぐにボキッと折れてしまいます。また、あんなに高く伸びることもできません。竹は、成長が止まる時期にこの「節目」をギュッと固めることで、次にまた高く伸びるための強さを手に入れているのです。

実は、これは人間も同じです。

私たちの生活にも「節目」があります。それが今、この「3月」という時期です。

今の学年が始まった4月から今日まで、みなさんはたくさんのことを経験してきました。「漢字が書けるようになった」「苦手な教科をがんばった」「友だちと仲直りできた」「運動会や音楽会などの行事で一生懸命がんばった」などなど。これらはすべて、みなさんの成長の証です。

今、この3月に「自分はどんなことができるようになったかな?」「次はどんな自分になりたいかな?」と振り返ることは、竹が節目を作って自分を強くしているのと同じ作業なのです。

3月は、今の学年のまとめをする「節目」の月です。

今年度、残りのこの1ヶ月、今のクラスの友だちや先生と過ごす時間を大切に、強くてしっかりした自分の節目を作りあげてほしい、と校長先生は思っています。そうすれば、4月からの新しい学年で、みなさんは竹のように、さらに高く、まっすぐ伸びていくことができるはずですよ。

今年度の残りの登校日数は、今日を入れてあと14日です。卒業する6年生も、進級するみなさんも、立派な「節目」を作って次のステップへ進めるよう、一日一日を大切に過ごしましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。

(この後、安全な生活について、生徒指導担当、保健の先生から安全な生活についてお話がありました。)



まっすぐ速く成長する竹!!



節目があるから折れない!!

### ◆ 放課後の過ごし方と見守りのお願い ◆

最近、子どもたちだけで校区外の商業施設や公園へ行っているという声を耳にすることが増えていきました。行動範囲が広がるのは成長の証でもありますが、一方で「子どもたちの判断力だけでは回避できない危険」も潜んでいます。学校でも継続して指導を行っておりますが、放課後や休日の過ごし方については、ご家庭でのルール作りが最も大きな力となります。「友だちに誘われたから」「みんな行っているから」という言葉に流されず、「校区外へ行くときは保護者同伴で」という約束を、あらためてお子様と共有していただけないでしょうか。何度も同様のお願いとなり恐縮ですが、地域全体で子どもたちの安全を守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。